

# 令和5年度 自己評価

豊里幼稚園

## 1. 園の教育目標

### 事業の目的

「園の主人公は子どもである」という一貫した基本認識に立ち、園の運営・教育・保育は「子どもの最大の利益を図る」ことを念頭に置きながら、地域に根差しその活性化に貢献していく

### 教育方針

- ・豊かな人間性を持った子どもをそだてる
- ・「生きる力」「生きる喜び」の基礎を育てる

### 教育理念

地域の文化に触れながら一人ひとりを大切に一人ひとりの可能性を認め、人や物との関わりを大切に豊かな心を育てる

保育教諭が子どもの命を守ることや情緒の安定を図ること

保健衛生的な環境づくり生理的な欲求を満たす。

### めざす幼児園像

- ・友だちと心をかよわせながら遊べる子
- ・自分で考えて意欲的に行動できる子
- ・感性が豊かで色々なものに感動する子
- ・物を大切にする子
- ・体力のある元気な子

## 2. 本年度の目標・計画

- ・一人ひとりに寄りそった保育の推進
- ・保育の質の向上を図る
- ・主体的に自然に親しんで五感を育て、あそびを通して協調性や協働性を育てていく

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

主な評価項目	取組状況
教育及び保育 ・全体的な計画等	・新年度職員会議にて、全職員に理念をはじめ、園の方針、計画などを配布し、意見交換をした上で周知を図る。 ・コロナ禍の中での行事のありかたなど工夫しつつ感染防止について話し合う。

<p>・教育及び保育の内容</p>	<p>・全学年で自然環境を積極的に取り入れた保育を推進する。職員間で情報交換をし、周知を図る。</p> <p>・園内研修として大学の先生（幼児専門の先生）または、臨床心理士・作業療法士等講師に招き、保育教諭や子どもたちの成長に寄り添った関わりや保護者支援を重点的に学ぶ。</p>
-------------------	---

<p>主な評価項目</p>	<p>取 組 状 況</p>
<p>・教育・保育の記録等</p>	<p>・各クラスで年間指導計画・月週案を作成</p> <p>・保育日誌・出席簿 ・観察記録 ・発達記録 ・支援児指導計画</p> <p>・人権年間計画 ・食育年間計画 ・交通安全指導計画</p> <p>・健康保健指導計画 ・午睡記録 ・アレルギー対象児記録</p> <p>・遊具安全点検 ・コロナ園児行動観察記録</p> <p>・個別記録を日々行い、年度末に全園児の指導要録を作成して引継ぎ資料にしている</p>
<p>幼小中連携</p>	<p>・ブロック研究会で年間の連携計画を立てているが、感染症予防の観点から中止・縮小されることが多かったが、できる方法で交流を行った。人権主任会は小学校・中学校の2名の先生に来園していただいて卒園児の子どもたちの話を共有する機会をもった。</p>
<p>特別支援教育</p>	<p>・全職員が、該当児の発達の変化や具体的な支援の方法など情報共有し、安定した関わりができるよう職員会議やミーティングで機会を設けた。</p> <p>・必要に応じて保護者との面談を行い、保護者の気持ちに寄り添いながら、クラスまたは園の中で無理なく楽しく過ごせる手だてを探っていった。</p> <p>・卒園にあたり学校の選択やスムーズな引継ぎのため、保護者・各機関との連絡を密に行った。</p>
<p>虐待防止等</p>	<p>・緊急性のある事態は発生していない。支援が必要とされる家庭には、行政関連機関等と連携し対応している。</p>

健康・衛生管理事故防止・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアルを整備し安全管理を実施している。</li> <li>・毎月避難訓練を実施し、園児や職員それぞれに必要な安全や対策の意識を高めている。</li> <li>・園庭や運動ひろば、遊具などの安全点検を毎月10日に職員が行っている。不具合があった場合にはただちに専門にお願いしたり職員が修理している。</li> </ul>
地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援</li> <li>・地域との関わり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭開放をするよう計画をするが、感染症予防のため活動を休止することも多かった。</li> <li>・一時預かり事業は申し込みが少なかった。年齢該当のクラスで対応できた。</li> <li>・これまでHPや園だよりの回覧などを通じて園の様子を情報発信してきた。</li> <li>・地域の「つれづれの会」の皆さんとの交流でふれあいを大切にしてきたが、感染防止のため中止となった。</li> </ul>
主な評価項目	取 組 状 況
食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食室から旬の食材がみえたり、作っている様子がみえるので子どもたちはのぞいて、今日の献立は「カレーライス」やと口々に楽しみに給食を待っています。</li> <li>・クッキングをすることで、食に興味をもったり苦手な野菜を食べられるようになったりしている。</li> <li>・献立には旬の食材を取り入れ季節を五感で味わえるようにしている。また管理栄養士も子どもたちの好きなメニューを聞いて献立に入れることもある。</li> </ul>

#### 4. 園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・保育教諭はじめ関わる全職員が、養護を基盤にした子どもの育ちの保証を掲げるところを理解し、連携をとりながら丁寧な保育教育をしようとする様子が見られた。しかし、人によって価値観もスキルも差がでるため、お互いが得意分野でカバーし合いながら自己啓発していけるような指導及び研修を必要とされる。・新型コロナウイルスという未曾有の脅威に対応するも、子どもたちを感染防止対策をしなければならないという思いで朝早い目の出勤で消毒しながら子どもを待ち受けるよう職員全員が協力しあって頑張ることが出来ました。

## 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
自己評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・振り返りシート記入による目標管理面談を年3回導入し自己評価の習慣が定着するよう努力する。</li><li>・日々の保育教育を振り返りながら、養護・教育に基づいた子どもとの丁寧な関わりや、子どもの成長に寄り添った指導計画が立案できるように、更なる園内研修を行い個別に自己研鑽に取り組めるようにする。</li></ul>
保育教諭の資質向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・園内研修又は外部研修を通して、個々の子どもの成長や発達を見極め、その時に必要な支援や環境作りの学びを深めていく。</li><li>・外部から専門の先生をまねいてスキルを高める。</li></ul>